

学習集団づくりを意図した教師の声掛け（ファシリテーション）の例

児童生徒の意見・考えがつながる学び・授業づくりを目指す

1 出会いをしかける！

意欲を引き出す
インパクトある出会い

- ◇驚きやワクワク感がある場面
- ◇すぐに判断できない課題
- ◇多様な考え方ができる問題
- ◇身近な素材・日常生活とつながる素材
- ◇外部人材の活用

- 意欲を喚起し探究心を持つ
- 既習・体験したこととつなげて考える
- 主体的に「問い」をつかむ、見いだす

・Aさんの疑問について、みんなどう思いますか。
・いい気付き・疑問ですね。
・BさんもAさんと同じことを考えていたのですね。
・不思議だね、面白いね……みんなで調べてみましょう。

2 めあてをつかませる！

めあて・見通しの共有

- ◇児童生徒の疑問を大切に
- ◇単元のつながりを意識させる、具体的なめあての設定
- ◇交流で意欲の向上につながる見通しを共有（「この方法が使えるかな」等）

- 具体的なめあてをつかむ
- 予想を立てる・方法を考える・見通しをもつ
- めあての達成にむけて粘り強く取り組む意欲を高める

・どのようなことが分かれば解決できそうでしょうか。
・どのような方法で調べればよいでしょうか。
・間違っても恥ずかしくないから、まずは予想してみましょう。
・Aさんの方法が使えるそうですね。

3 一人で挑戦させる！

学んできたことをフル活用

- ◇文章や絵、図など様々な表現方法の活用
- ◇ワークシートやヒントカードの活用
- ◇一つの方法に限定しない柔軟な思考
- ◇既習事項や経験をつなげる思考
- ◇つまずきや未解決事項をメタ認知

- 資料等から必要な情報を収集・整理し、自分の考えを持つ
- つまずきや未解決事項を自覚化し、協働的な学びで解決しようとする意欲を高める

・考えと合わせて、理由・根拠も書きましょう。
・1つ考えられた人は、もう1つ考えましょう。
・考えたことを、この後交流します。話せるように準備しましょう。
・どこまで分かった、どこから分からないか、それをはっきりさせましょう。
・（考えがまとまらない子へは）分からないことがあってもそれでいい、みんなの意見を聞いて考えをつくりましょう。

4 仲間と追究させる！

考えを比較・検討

- ◇意図的なペア・グループの編成
- ◇話し合いのルールを設定（話型・傾聴・違いを聴く等）
- ◇目的や視点を明確にした指示（話し合い、実験、観察、実技等）
- ◇教具の活用（ホワイトボード・ICT等）

- 少数・学級で考えを交流し共通点や相違点を明らかにする
- 自分が考えた内容を整理する・より明らかにする・自信を持つ
- 他者の考えの良さを見付け、自分の考えを広げる

・意見を伝え合い、考えていることをはっきりさせましょう。
・みんなと自分の考えを比べて、自分の考えを広げましょう。良いところは、自分の意見に付け加えましょう。
・みんなの意見を聞いて考えをつくりましょう。
・みんなの意見とどこが同じで、どこが違うか、確かめましょう。

5 交流でさらに深めさせる！

練り合い・発見

- ◇共通点や相違点に着目した話し合い
- ◇焦点化の視点（よりわかりやすい、より簡単、だれにでもできる、より速く解決できる、等）
- ◇比較、分類、包括、深化の視点
- ◇思考ツールの活用（ワークシート・ICT等）

- 考えをつなげたり、異なる考えを出したり、新たな考えを生み出したりする
- 納得解・最適解を見いだす
- 自分の考えや他者の考えを関連付けてより深く理解する、話し合いに有効なツールを活用する

・みんなの意見を聞いてめあて（課題・問い）を解決しましょう。
・今の意見は、Aさんの考えを、例を挙げて詳しく言えましたね。
・BさんはAさんの意見をよく聞いていたから、そのことが分かったのですね。
・（途中で詰まったら）その続きを、代わりに言ってくれる人はいませんか。
・みんなの意見を聞いて、考えを持ってましたね。
・考えをつなげていますね。他の人はどうですか。
・自分の生活の中で見つけたことと結びつけましたね。
・「も」というたった1文字だけど、大事な言葉に目をつけましたね。
・〇〇の時の……とつなげて考えられましたね。
・……にきちんと理由を見つけられましたね。
・前に学習したことをよく覚えて使いましたね。

6 自分の言葉でまとめさせる！

分かったことを表現・確認

- ◇共通するキーワードや方法の確認
- ◇選択した方法での表現（文章、図等）
- ◇適用題で確認（「わかる」から「できる」へ）

- めあてに対して解決したこと・分かったことを自分なりの言葉で表現する
- 他者との交流で付け加え・修正する

・今日の授業で、めあてに対して分かったことを、キーワードを用いてまとめてみましょう。
・みんなに説明できるよう、図や表などを用いながら自分で工夫して、まとめてみましょう。

7 学びを振り返らせる！

嗜好の変化
学びの過程を自覚

- ◇学びの過程や変容に着目（影響を受けた仲間の意見、授業前との比較、他の事象とのつながり、次への見通し、自己評価、等）
- ◇振り返りカードの活用、蓄積

- 自分が得た学びを具体的に確認し、共有する（達成感や成就感を味わう）
- 自分自身の考えの変容や、学びを得た過程（学び方）を振り返る
- 自分を肯定的にとらえる自己肯定感や、役に立った、認められたという自己有用感を高める
- 学んだことを社会や生活、自分自身の経験・学びとつなげる

・今後の学習で今日の学習がどのように役立つか、考えてみましょう。
・どのような方法で自分や仲間の意見を参考にして学んだか、振り返りましょう。
・今日の学習を通して、めあてを達成する（課題や問いを解決する）には、どのようにすればいいか、整理してみましょう。

児童生徒一人一人に対する理解（児童生徒理解）

